

令和3年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 3 年 8月 15日作成

大学名：上越教育大学

タイトル：あなたは“大丈夫”？

1：本ワークショップの要旨

メインテーマは「異文化理解」である。特に留学生とともに中国の文化について同じところや違いを見つけ、まずは中国文化に関するクイズなどの活動を通して自文化を支える「価値観」を認識する。その後、実際に留学生によるリアルな中国の文化を体験する活動で異文化を身近に感じるという原体験を生み出す。「あなたは“大丈夫”？」というシンプルな問いに、異なる視点から見た時の答えはどんなものになるのだろうかを探る。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

本ワークショップでは、異文化理解がメインテーマであり、その目標は子どもたちに異文化を実際に体験してもらい、その良さに気づいてもらうことである。活動内容は、子どもたちが異文化について考えながら体を動かせるものが中心である。活動を通して、異文化を楽しみ理解することの素地をはぐくみたい。

3：本トピックをとりあげる理由

このグループには3人の留学生が在籍すること、またその他の学生についても長期留学などでの海外経験が豊富であることから、その経験を子どもたちに伝えることこそが私たちが本ワークショップを作り上げる価値であると考え。その中で、子どもたちに最も伝えたいことは、異文化を知ることと実際に体験することの楽しさや素晴らしさである。近年、私たちを取り巻く世界ではグローバル化が進みAI社会へ移行しつつあるため、世界とつながることは容易に見えるが実際に体験することで得られる楽しさや緊張感に勝るものはない。

以上の事柄から、本ワークショップでは、私たちのグループの経験を身をもって伝えることができる異文化理解のトピックを取り上げる。

4：活動過程 (使用時間：90分 参加人数：40人)

過程 (所要 時間)	活動内容	具体的な発 問・ 説明・動き など	ねらい	使用する 教材・備品	予想され る反応、 その他注 意事項
導 入 :起 (1 0 分)	○ファシリ テーターの 自己紹介、 アイスブレ イク、メイ ンとなる問 題を提示	○「あなたは “大丈 夫”？」を児 童生徒に提示 する。 ○中国人留学 生はNoと答え る	○「あなた は“大丈 夫”？」の 問いに他の 答えがあり そうなこと に気づく		○児童生徒 の様子をみ て、適宜ア イスブレ イクの内容や 時間を変更 する。 ○ワーク ショップを 支えるメイ ンの問いで あるのでよ う聞いても らうように 注意する。
展 開 :承 (2 5 分)	○中国文化 を中心に世 界の文化に まつわるク イズ	○ファシリ テーターがこ れまで経験し てきた国の文 化についてク イズを出題す る。 ○児童生徒の 回答を互いに 確認する時間 を設ける。	○世界には 様々な文化 があること を理解する ○中国と日 本の文化 で、似てい る部分や 違っている 部分に気づ く ○ねらい： 異文化を知 る	○問題文、正 解は PowerPointを 使用 ○児童生徒は 紙で答えを示 す。	○校種、学 年によって 問題の難易 度や内容を 変更する。 ○「どっち だろう」 「簡単だ」 「難しすぎ る」等の感 想を随時引 き出す

<p>発 展 : 転 (<u>3</u> <u>5</u> 分)</p>	<p>○中国文化を体験する活動（目の体操、切り絵）</p>	<p>○中国の学生が実際に行う「目の体操」を行う</p> <p>○「皆さんも実際に行ってみましょう」</p> <p>○中国の伝統的な切り紙（揃紙）を行う</p> <p>○「一緒にやってみましょう！」</p>	<p>○中国の学生と同じ体験をする。</p> <p>○中国の伝統文化である切り絵を、日本のものと比較しながら体験する</p> <p>○ねらい：異文化を体験する</p>	<p>○目の体操のやり方を映像を用いながら説明する。</p> <p>○はさみ、折り紙数種類を使用する。 ○折り紙は配布、はさみは各個人で用意</p>	<p>○「恥ずかしい」 ○「こんなことをするのか！」</p> <p>○時間を短めに設定し、次の活動への架橋とする</p> <p>○児童生徒の様子をみて、はさみを振り回したり指を切ったりするなど危険がないように助言する</p>
<p>まとめ : 結 (<u>1</u> <u>5</u> 分)</p>	<p>○ワークショップの感想をグループで共有する</p> <p>○「あなたは“大丈夫”？」について、中国での解釈を説明する</p>	<p>○「今日はどうだった？楽しかった？」</p> <p>○「もう一度聞きます。あなたは“大丈夫”？」</p>	<p>○異文化を体験することの楽しさに気づく</p> <p>○似ている文化の中にも違いがあることに気づく</p>		<p>○たくさんの感想を引き出すように働きかける</p> <p>○ファシリテーターはポジティブな感想もネガティブな感想も受け止める。</p>

5：新型コロナウイルス感染症拡大防止のための工夫や留意点

- ・アイスブレイクでは声を出さずに行う活動を行う。
- ・活動で用いるはさみは個人のもを使用し、基本的に貸し出しは行わない

6：会場のセッティング（対面の場合のみ）

- ・プロジェクター、スクリーンを使用
- ・4～5人一組のグループを作成し、各自の机を合わせる。
- ・あらかじめ各テーブルに切り絵で用いる折り紙を2種配布

7：使用する教材

- ・スクリーン、プロジェクター
- ・折り紙
- ・はさみ

8：参考にした資料

【切り絵】

<https://youtu.be/DShWPVFissE> (YouTube[快来学剪窗花, 看着复杂, 其实很简单], 最終アクセス8月15日)

<https://youtu.be/vSz9q61iG2s> (YouTube [明珠老师剪纸教程 蝴蝶剪纸 蝶々 切り絵 保育切り絵 育児切り絵 育児剪纸 butterfly paper cutting], 最終アクセス8月15日)

<https://youtu.be/4Kbl8UgQazQ> (YouTube[明珠老师剪纸教程 雪花剪纸教程 snowflake papercut 雪の結晶切り絵], 最終アクセス8月15日)

9：その他

- ・映像料を多く用いるため、機材や配慮についてワークショップ担当の先生と綿密に打ち合わせをお願いしたいと思います。
- ・グループ分けについて、該当のクラスで事前にグループ分けをお願いします。
- ・ワークショップ内では、いかなる場合もその場にいる全員に対し差別的な表現や言動は一切許容しない。